

ジョグトリ新聞

発行責任者
(社)ジョグトリッ
理事長 網本裕之

おそるべしおひるせ食堂

久留米の食の奥深さを堪能！

先日、やまづとの道
ジョグトリップの準備
で久留米にでかけまし
た。

市役所・公園管理事
務所・警察署を回って、
カップ先生を超優秀附
設高校前で拾ったのは
11時30分ちよい
前。

前日電話をした際に
「ひるせ食堂」のラー
メンを食べたいとリク
エストしましたら、あ
そこは混み合うので早
めに入らないといか
んでギリギリか？
ひるせ食堂に着く
と、ちょうど1台駐
車スペースが空いてま
す。カップ先生曰く「こ
りや超ラッキー」

予想ではちよつと古
びた佇まいかなと思っ
てましたら、小綺麗な
店構え。

店内に入ると既にカ
ウンター・テーブルと
も一杯で、ちよつとだ
け行列。この間に店内
観察。

カウンターとテーブ
ルの間にテーブルがあ
って、お皿とかホイ
ルとかラップとかが置か
れています。(これ、
後で出てきます)

先客のテーブルにラ
ーメンと焼き飯のセッ
トが運ばれています。
ここでまず目を剥きま
した。「なにあの焼き
飯の量！」
お皿目一杯盛ってあ
って、二人分くらいあ

りそう。
カップ先生、ニヤリ
と笑って「ここはセッ
トじゃないとね」
マジすか？

見ると、アベック客
の女性の前にもどーん
とラーメンと山盛り焼
き飯があ！男の方にも
どーんと置かれてい
るので、これ女性ひとり
で食べるの？普通、
二人で一皿でしょ！？
うゝむ、こりや覚悟
を決めないといかん
ぞ。

で、カウンターが空
いたので着席しまし
て、さあ何を頼むかっ
て、やっぱりセットし
かないでしょ！
店員さん3名がカウ
ンターの中で働いてま

して、たぶん家族か
な？やっぱり家族が一
番当てになりますな
あ。人件費考えんでも
いいし。
そうこうするうち、
ラーメンが運ばれてき
ました。おいしそうな
豚骨です。
まずスープをすず
る。意外とアツサリ目
でおいしい。麺もグッ
ド。しかし、このラー
メンの味は記憶の彼方
に消えていく運命にあ
ったのです。
立て続けに山盛り焼
き飯が目の前に置かれ
たのです。ドーン！
私の常識ではラーメ
ンの合間に焼き飯なん
ですが、とんでもない。
まずはこの焼き飯を
お腹に収めなきゃ。
なので、焼き飯の合
間にラーメンをすす
るという不思議な世界。
ラーメンを食べに来
たのか？焼き飯を食べ
に来たのか？
ここで言うっておかな
きゃいけないのですけ
んど、焼き飯、美味し
いですよ。ライスも立

って味付けもグッ
ド。
ただ、量が量だけに、
味わう余裕なし。
とにかく必死に食べ
て、右隣のカップ先
生を見ると、あれ？焼
き飯のペースが遅い。
「昔は余裕で食べて
たけど、久しぶり来た
ら入らんねえ」と言い
訳？
でもここはカップ先
生を顧みる余裕はな
く、必死で食べます。
水を3〜4杯飲まない
と喉を通っていきませ
ん。
で、ふと左隣の見知
らぬおじさんを見る
と、切り取ったホイ
ルの四辺をきれいに折
て皿のようにして、そ
こに焼き飯を載せてス
プーンでならしていま
す。その手際が自然な
ので、声を掛けてしま
いました。
私「流儀なんです
か？」
おじさん「こりやっ
て冷まさない湯気が
付くんで」
で、焼き飯をならし

終わったおじさんは、
うまい具合にアルミを
巻取りラップに包んで
お持ち帰りされました。
なるほど、久留米の
ソウルフードならではの
の光景ではありまし
た。
わたしたちもなんと
か出されたものをなん
とかお腹に収めること
ができて、めでたしめ
でたし。お代を払って
店を出ました。
そのころには店の外
にまで行列ができてい
て、繁盛ぶりがうかが
えました。
カップ先生をまた超
優秀附設高校前まで送
りまして、私は田主丸
方面へ。
ぶじご挨拶等々を終
えまして帰途につきま
したが、晩飯時になっ
ても全然胃のスペース
が空きません。結局翌
朝まで満腹感が残りま
した。
そういうえば、アベッ
クで来てたあの女性も
ぜんぶ食べたやろ
か？

で、ふと左隣の見知
らぬおじさんを見る
と、切り取ったホイ
ルの四辺をきれいに折
て皿のようにして、そ
こに焼き飯を載せてス
プーンでならしていま
す。その手際が自然な
ので、声を掛けてしま
いました。
私「流儀なんです
か？」
おじさん「こりやっ
て冷まさない湯気が
付くんで」
で、焼き飯をならし

で、ふと左隣の見知
らぬおじさんを見る
と、切り取ったホイ
ルの四辺をきれいに折
て皿のようにして、そ
こに焼き飯を載せてス
プーンでならしていま
す。その手際が自然な
ので、声を掛けてしま
いました。
私「流儀なんです
か？」
おじさん「こりやっ
て冷まさない湯気が
付くんで」
で、焼き飯をならし

で、ふと左隣の見知
らぬおじさんを見る
と、切り取ったホイ
ルの四辺をきれいに折
て皿のようにして、そ
こに焼き飯を載せてス
プーンでならしていま
す。その手際が自然な
ので、声を掛けてしま
いました。
私「流儀なんです
か？」
おじさん「こりやっ
て冷まさない湯気が
付くんで」
で、焼き飯をならし